



元青年海外協力隊日本語教師に聞く！

ほほえみの国

タイでの奮闘記



6月4日(土)に、イーグレひめじセミナー室Aにて、ボランティアステップアップ学習会「ほほえみの国タイでの奮闘記」を実施しました。講師は、元JICA青年海外協力隊の中川夏姫さんです。ボランティア活動に興味のある方、日本語学習支援ボランティアなど24名が参加しました。

中学校のときに青年海外協力隊の体験談を聞き、興味を持つようになったという中川さんは、大学卒業後2013年から2年間タイで日本語教師として活動されました。

はじめに、クイズを交えながらタイの気候や街並みの様子、文化の違いなどを紹介されました。「首都バンコクでは雨が降ると車が渋滞する」「屋台のごはんがおいしくて安いから家で料理をしない」そうです。また、みなさんと一緒にタイ語にも挑戦しました。にわとりが横を向いて並んでいるような文字に苦戦しながらも、自分の名前が書けたときにはみなさん喜んでいました。

その後、日本語教師としての活動で苦労したことや、どんな工夫をすることで乗り越えたのかをお話しされました。タイの学生は、人前で怒られるのが嫌で注意すると笑顔でごまかしてしまう。助け合いといってテストでカンニングしてしまうなどエピソードを交えてお話しくださいました。

タイ人日本語教師とのチームティーチングを円滑にするために積極的にコミュニケーションをとるようにし、タイ語の習得も頑張って検定に合格したそうです。また、日本語だけでなく日本文化紹介としてソーラン節の指導も行い、文化祭では高い評価をもらったそうです。

参加者の中にはタイに行ったことがある方もおられ、懐かしい気持ちとともに、中川さんの前向きな姿勢に心を打たれた様子でした。

